

週刊ニュース
みんなにちは日本共産党
横浜市議員

大和田あきお です

日本共産党戸塚区委員会
戸塚町3884-1
TEL：045-865-0074
FAX：045-865-05942024年
第2回定例会

スクールカウンセラーの配置増を歓迎し 小学校でも拡充を求める

5月23日、横浜市会では、補正予算案を含む26件の市長提出議案に対する関連質問が行われました。日本共産党からは、大和田あきお議員（戸塚区選出）が登壇し、市独自の保育士配置の更なる拡充、「貧困ビジネス」を規制する条例改定、スクールカウンセラーの配置拡充、校内ハートフルの専用教室の確実な確保などを求めて、山中竹春市長や下田康晴教育長などに質問しました。

今回の補正予算案では、学校でのいじめ再発防止対策として、市立中学校、高校、特別支援学校のスクールカウンセラー（SC）の配置を週1回から2回に増やすことなどが示されました。

現在、市全体のスクールカウンセラーの人員数は、小・中・高・特別支援学校合わせて150名から160名であり、この人員で対応した相談件数は、2022年度のカウンセラー1人当たりの対応相談件数は570件にのぼります。（小学校で52,220件、中学校で約36,000件、高校で約2,800件、特別支援学校で約200件）

小学校でのスクールカウンセラーの配置増とスクールソーシャルワーカーの更なる増員を

大和田議員は、今回の拡充の提案で、カウンセラー50名前後の拡充が中学校等で進むことは大変期待できると述べつつ、小学校でもスクールカウンセラーの配置を拡充すべきと求めました。また、法律や福祉制度の専門知識を有し

ているスクールソーシャルワーカー（SSW）も、いじめ再発防止に向けた学校体制の強化に向けてなくてはならない存在であり、増員を進めるよう求めました。

他の自治体なども研究しながら取り組んでいく

…下田教育長答弁



登壇する大和田議員

下田教育長は、スクールカウンセラーについて、今回の補正予算では現場の声を踏まえるとともに短い期間で確保が可能なスクールカウンセラーの人数も勘案し、複雑で深刻な悩みを抱えやすい思春期にある中学校・高校・特別支援学校の支援を先行し充実を図った。今後いじめ等に関する総合的な相談の仕組みづくりについては、小学校におけるスクールカウンセラーの拡充も含めて、他の自治体なども研究しながら取り組んでいくと答弁しました。

スクールソーシャルワーカーについては、家庭や地域と連携したいじめや不登校対応などにおいて、その果たす役割は非常に大きいと認識している。今回は児童生徒を心理的に支援をするスクールカウンセラーの配置の充実を先行して取り組むこととしたが、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーとの効果的な連携、役割分担を見極めた上で総合的な仕組みを検討していくと答弁しました。

2024年度の常任委員会・特別委員会等の所属が決まりました

団長 古谷やすひこ（鶴見区選出）
子ども青少年・教育委員会、大都市行財政制度特別委員会副団長 白井まさ子（港北区選出）
建築・都市整備・道路委員会、健康づくり・スポーツ推進特別委員会みわ智恵美（港南区選出）
政策経営・総務・財政常任委員会、郊外部再生・活性化特別委員会宇佐美さやか（神奈川区選出）
脱炭素・GREEN×EXPO推進委員会、減災対策推進特別委員会大和田あきお（戸塚区選出）
健康福祉・医療委員会、基地対策特別委員会

【市会運営委員会】

宇佐美さやか

【神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員】

みわ智恵美

